

T J A T活動報告書

報告者 久水 嘉智

| | |
|------|---------------------------------------|
| 大会名 | 第42回 全国高等学校柔道選手権富山県大会 |
| 日時 | 令和元年11月16日、17日（土、日） 開会式 午後9時30分 |
| 会場 | 県営富山武道館 |
| 対象 | 高校生男女128名 |
| 参加者名 | 11月16日一ノ瀬 充、久水 嘉智 11月17日菅沼 仁、久水 嘉智 |

富山県柔道連盟からの救護支援依頼により、11月16日は一ノ瀬 充会員と私（久水 嘉智会員）の2名、11月17日は菅沼 仁会員と私の2名で全国高等学校柔道選手権富山県大会の救護活動を行いました。県内各地区から高校生の男女128名が集まり、団体戦及びそれぞれの階級で全国大会の出場を目指して熱戦が繰り広げられました。

我々は、約1時間前に会場に集合し、怪我が発生した場合の対応などを打ち合わせ、氷嚢への氷詰めや事前に怪我をしている選手に向けてのテーピング、用具の点検などの準備をして競技開始を待ちました。今回の活動内容としては、鼻血の止血や手指の擦過傷の処置があり16日は6名、17日は7名の救護依頼がありました。

多くの選手が試合前に怪我をしており「試合に向けての処置をできないか」という要望も多くありました。柔道は組み合って投げ技や関節技をかける競技の為、怪我のリスクは高くなります。怪我だけの処置ではなく怪我の予防の為に柔道整復師が出来ることがあるのではないかと考えさせられました。

今回も、観客席はご父兄で満員となり、熱い声援が飛び交うなど大変盛り上がっていました。そして、現場の指導者、大会運営に関わる先生、審判員の先生方の柔道に対する熱心が伝わってくる良い大会でした。県代表に選ばれた選手は全国大会でも活躍されることを願っています。また、残念ながら今回負けてしまった選手も、これから頑張りたいと思います。